

事務事業チェックシート

事務事業No 579 事業名 各種競技団体との連携事業（スポーツ交流大会、ジュニアサッカー教室など）

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	4	スポーツの振興
取組方針	1	生涯スポーツの振興

事業種別	継続	
事業期間	～ 永年	
事業実施の根拠法令		
関連個別計画	和歌山市スポーツ振興計画	
担当課・担当課長 (Tel)	スポーツ振興課	小川 直寛
関連課		

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	教育費		
	項	保健体育費		
	目	体育振興費		
	大事業	体育振興事業		
事項	各種競技団体との連携事業			

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か） 和歌山市体育協会や、和歌山市スポーツ少年団などの様々な競技団体と連携を密にすることで、市民がスポーツに接する機会を与え、スポーツ人口の増加を図ることを目的とします。	事業内容 スポーツの振興及びスポーツ人口の増加を目指し、和歌山市体育協会やスポーツ少年団などの様々な競技団体が実施するスポーツ教室、交流大会、卓球大会等に補助金等を支出しています。				
	実施内容	平成26年度 生涯スポーツ交流大会の開催 ジュニアサッカー教室の実施 市町村対抗ジュニア駅伝競走大会への派遣 障害者卓球大会の開催	平成27年度 生涯スポーツ交流大会の開催 ジュニアサッカー教室の実施 市町村対抗ジュニア駅伝競走大会への派遣 障害者卓球大会の開催 世界陸上北京大会出場のオーストラリア陸上ナショナルチームの事前合宿受入れ	平成28年度 生涯スポーツ交流大会の開催 ジュニアサッカー教室の実施 市町村対抗ジュニア駅伝競走大会への派遣 障害者卓球大会の開催	平成29年度 生涯スポーツ交流大会の開催 ジュニアスポーツ教室の実施 市町村対抗ジュニア駅伝競走大会への派遣 障害者卓球大会の開催 国際・第38回全日本マスターズ陸上競技選手権大会開催に対する補助金の支出	平成30年度 生涯スポーツ交流大会の開催 ジュニアスポーツ教室の実施 市町村対抗ジュニア駅伝競走大会への派遣 障害者卓球大会の開催

2 事業コスト

事業費等（千円）	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	2,801	2,734	2,898	4,354	2,805	2,804	5,961		3,461	
伸び率 (%)	-	-	3.5%	59.3%	▲3.2%	▲35.6%	112.5%	▲100.0%	▲41.9%	-
人件費	正規職員	2,940	2,993	2,993	3,454	3,454	3,869	3,869	3,869	
	正規職員以外									
小計	2,940	2,993	2,993	3,454	3,454	3,869	3,869	3,869	3,869	
国庫支出金										
県支出金										
市債										
その他										
一般財源（税等）	2,801	2,734	2,898	4,354	2,805	2,804	5,961		3,461	
所要人数（人）	正規職員	0.39	0.40	0.40	0.45	0.45	0.49	0.49	0.49	
	正規職員以外									
主な予算内訳	国際・第38回全日本マスターズ陸上競技選手権大会補助金 2,500千円、和歌山市スポーツ少年団育成交付金 1,060千円、ジュニアスポーツ教室開催委託料 857千円									

3 目標及び実績

指標	指標名	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
			目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
活動指標	教室・各種大会実施件数	件	19	19	19	20	20
			19	19	18		
			100.0%	100.0%	94.7%		
成果指標	教室・大会参加者数	人	3,200	3,200	3,200	3,200	3,200
			1,747	1,670	2,411		
			54.6%	52.2%	75.3%		

4 事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む		中長期的に取り組む	○	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)		達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない		見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持		○		
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>様々な競技団体と連携を図り、市民のための生涯スポーツ交流大会の開催や、障害者と健常者が共に参加して行う障害者卓球大会など、市民が気軽にスポーツに接する機会を与え、人と人との繋がりや交流を大切にすることで、スポーツ振興や推進に寄与しています。</p>
見直し・改善内容	<p>今後も、競技団体との連携強化を図り、各種スポーツ大会を実施していく中で、コスト縮減に向けて検討してまいります。</p>